

観 点	ね ら い	内 容	資 料	指 導 上 の 留 意 点	中 学 校 と の 関 連	選 択 科 目 と の 関 連
<p>経済体制 (2 時間)</p>	<p>資本主義経済体制と社会主義経済体制との基本的な体制とのちがいを理解させる。</p>	<p>1 資本主義経済と社会主義経済 (1) 資本主義経済の原則 (2) 社会主義経済の原則 (3) 二つの経済体制の比較</p>	<p>。「ソビエト社会主義共和国連邦憲法」第10条, 第11条, 第13条, 第14条 。「中華人民共和国憲法」第5条, 第6条, 第7条, 第8条, 第10条 (宮沢俊義編『世界憲法集』岩波書店 P 275, 377)</p>	<p>。小項目「現代国家と民主政治」で, 世界の主な政治体制について指導する。 。資本主義経済体制, 社会主義経済体制の各々の特徴などを比較して表にまとめさせる。</p>	<p>(公民) 内容 (2) 国民生活の向上と経済 エ 貿易と国際協力 。世界には, 資本主義経済のほかには, 社会主義経済を建前とする諸国があることについて理解させる。 。社会主義経済の特色のあらましに触れる。 。社会主義経済は国によって相違があることに気付かせる。 。我が国と社会主義国との貿易を通じての結びつきを具体的に理解させる。</p>	<p>(政経) 内容 (2) 日本の経済と国民福祉 「国際経済と国際協力」 。二つの経済体制の変化などに関する具体的な事例を取り上げて, 経済の基本問題とその解決の仕方について理解させる。 。二つの経済体制間の経済交流については, 多面的かつ拡大傾向にある現状を適切な資料に基づいて理解させながら, 経済協力の必要なことを考えさせるように扱う。</p>
	<p>資本主義経済体制と社会主義経済体制とがもつてくる課題や今後の発展の方向について考えさせる。</p>	<p>2 二つの経済体制の課題 (1) 資本主義経済の進路 自動安定装置, 社会保障, 混合経済 (2) 社会主義経済の進路 消費財生産, 食料生産, 利潤方式の導入 (3) 二つの経済体制間の経済交流</p>	<p>。「資本主義経済と社会主義経済」(小泉明・紅林茂夫著『きよの経済学』日本放送協会 P 23~55) 。「新しい中国」(フィルムライブラリー 222, 37分)</p>	<p>。小項目「国際平和と人類の福祉」で, 国際平和と人類の福祉の増進について考えさせ, 各国の協力が大切であることを指導する。 。両経済体制とも時代の推移とともに様々な修正が加えられてきている事実に着目させる。</p>		